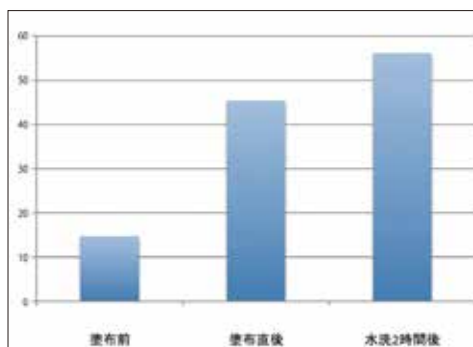


てんさい糖を使ったスキンケアから医療現場で使えるヘルスケアへ

赤ちゃんから高齢者まで使えるてんさい糖を使ったスキンケア商品の製造・販売を行う一方、医療現場で使えるヘルスケア商品の製造・販売も開始。各種クリニックや医療従事者から高い評価を得ている。



▲水分値平均(h2O)グラフ



バリアモイスト150ml▶



▲水分値計測

高齢者や肌疾患のある人たちのために、医療現場でも使える保湿剤を～保湿・バリア・コート多機能スキンケア製品「バリアモイスト」の開発～

医療現場からの声に応じて誕生した「バリアモイスト」。

てんさい糖を原材料としたスキンケア商品「シュクレ」をはじめ、赤ちゃん用のオーガニックシュガーリングなどを製造・販売している株式会社アビサル・ジャパン。昨今は、医療現場でも使えるヘルスケア商品の開発にも取り組んでいる。そのひとつが、肌にスプレーしてふき取るだけで、洗浄と保湿ができるローション「カラダキレイ」だ。医療現場や水が使えない災害現場などで実績がある。今回同社が開発したのは、保湿・バリア・コートの3つの機能を持った製品が欲しいという現場からの声に応えた「バリアモイスト」だ。湿布などの貼薬は高齢者や肌疾患のある人たちには炎症やかゆみが誘発しやすい。また、人工透析患者は特に肌疾患になりやすく、肌を保護し乾燥を防ぐ機能性の高い製品が求められていた。一般的な保湿クリームなどを使って貼薬を貼ると、貼薬がはがれるという問題があった。

そこで、貼薬を貼る肌のバリア機能を高め、カバーすることができ、貼薬もはがれずに高い保湿力がある「バリアモイスト」が誕生した。

たっぷり使える価格設定で、全身に使える。

保湿とバリア機能を持つ製品はすでに存在しているが、保湿・バリア・コートの3つの機能をひとつでまかなえる製品は「バリアモイスト」が初めてだという。どんな肌の弱い人でも使えるよう、透析クリニックなどで試験をしてエビデンスを取得。「保湿がとにかく良い」と現場からの反応も上々だ。「高額だともったいないので少しづつしか使わないが、手ごろな価格だとたっぷり使ってもらえる」と価格もリーズナブルに設定。手足だけではなく全身に使ってほしいと同社は考えている。「バリアモイスト」は3月から発売開始、アビサル・ジャパンの直営店や通販で購入することができる。

思いのほか
上手くなりました。

株式会社アビサル・ジャパン 代表取締役
職立 真理



「バリアモイスト」の開発は、思いのほか上手くなりました。ものづくり支援は、自由にやりたいことに柔軟に対応してくれたので、とても使いやすかったです。試薬をつくったり、試験をしたり、レポートをまとめるなどに利用しました。